

保健だより

厚木市立森の里中学校 保健室
平成25年2月19日

インフルエンザA、B そして大雪



雪道に届けられたる朝刊は
羽生結弦の金メダル伝う

今年は、これまでに無いインフルエンザのはやり方でした。1月の3連休明け、いきなり2年生にA型がはやり、続いて1年生に広がりました。1月下旬はいったんは収まるかに見えましたが、2月になると今度はB型が猛烈な感染力で再び1年生に広がりました。このようにA型とB型が時期を前後して流行することはこれまでにないことでした。これまでに無いことと言えばもう一つ気象の方にも起こり、関東地方には数十年ぶりの記録的な大雪になりました。交通機関に影響が出て、3年生のみなさんの中には、受験会場に行くのに不便な思いをした人もいたことでしょう。予期せぬことが起きても、そのような中で最善の行動を取るにはどうすれば良いか強く考えさせられたこの1ヶ月でした。

インフルエンザ発生状況 (H 26.2.18 現在)

期間	件数	備考
11/18 ~ 11/24	1	
1/8 ~ 1/10	1	
1/14 ~ 1/17	26	A型流行 2年学年閉鎖
1/20 ~ 1/24	13	1年1クラス学級閉鎖
1/27 ~ 1/31	3	A型終息
2/3 ~ 2/7	12	B型流行 1年1クラス学級閉鎖
2/10 ~ 2/14	13	1年学年閉鎖
2/17 ~ 2/21	3	
合計	72	

罹患者数 全校の約**30%**
1年47人(61%)
2年21人(30%)
3年 4人(5%)

A型 42人
B型 30人
A型とB型ともに感染 6人

・これまでにわかったこと

- ・2009年新型インフルエンザが発生したときに匹敵する罹患率
2009年32% 2014年30%
- ・A型のあとにB型がはやった(全国的な傾向と一致)
- ・学校によってはやる時期にばらつき
A中2013年4月に流行 B中2013年12月に流行→2014年1、2月は流行らず
- ・例年3年生は罹患者が少ない
危機意識が高い。かかってはいけないという緊張感が免疫力を高めるのか。
予防接種率も他の学年より高い。
- ・A型とB型両方かかった人がいた
ウイルスは肉眼では見えないため、飛沫感染の実態がなかなかイメージできませんが、
感染している人はウイルスを出している、教室はウイルスがいっぱいということを入れて予防することが大事。
今シーズンから得た教訓 「このくらい大丈夫が起こす大感染」

